

交通死亡事故発生件数
県内ワースト1位(市町村別)
※平成29年7月末日現在。

考えてみませんか？ 悲しむ人を増やさないためにできる交通安全

茨城県で発生している交通事故死者数は全国ワースト6位(平成29年7月末日現在)。その中で高齢者(65歳以上)が約50%を占めています。

一緒に過ごす家族や友人を悲しませないように、事故に遭わない・起こさないためにできることを学びませんか。【問】防災交通課(総和庁舎) ☎92-3111

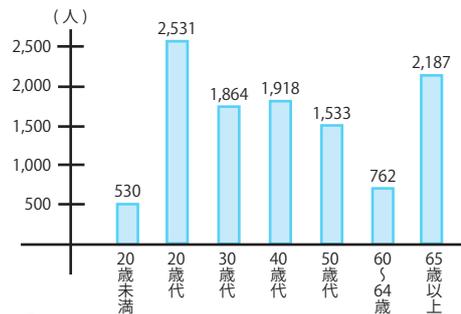
交通事故で命を失う約50%は高齢者

平成27年に県内で発生した交通事故は約1万1,600件。そのうち、高齢者が関係する事故が約2,200件で全体の18.9%です。

その中でも、死者数に注目すると、140人のうち69人(49.3%)が高齢者。さらに、そのうちの51人(73.9%)が歩行中もしくは自転車運転中に尊い命を失っています。

Pick Up!

茨城県内の交通事故発生数(年代別)



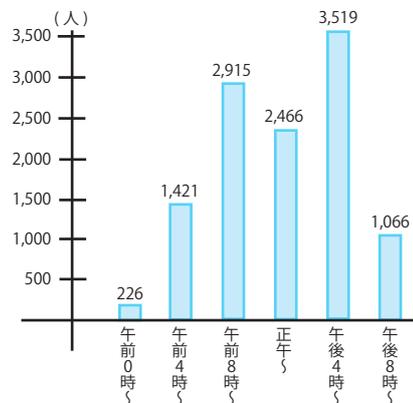
資料：平成27年茨城県交通白書

気持ちの焦りや緩みが招く交通事故

交通事故の発生する時間帯を見ると、午後4時～7時の夕暮れ(薄暮時)に発生する事故が多くなっています。歩行者等の発見が遅れ衝突する事故に繋がりますので、早めにライトを点灯し、スマートフォンなどを操作しながらの「ながら運転」はやめましょう。

Pick Up!

茨城県内の交通事故発生数(時間帯別)



資料：平成27年茨城県交通白書

【豆知識】

- ①交通事故発生は金曜日が一番多い
- ②交通事故による死亡は月曜日と土曜日がが多い

週の始まりと終わりに事故が多いのが特徴的です。



ハイビーム点灯が原則



⚠️ 夕暮れ時に注意 ⚠️

前照灯を早めに点灯することで、歩行者などを見つけやすくなります。また、自身の存在を知らせることになり、事故を防ぐことにつながります。



運転手が歩行者を見つけるためには、反射材が有効です。事故に遭わないためにも、反射材等を身につけて、自身の安全を守りましょう。

⚠️ スマートフォン使用は違反です ⚠️



「ながら運転」による交通事故発生が非常に増えています。よそ見運転になるだけではなく、集中して運転できないので重大事故の原因となります。



自転車運転中のスマートフォン操作も「ながら運転」になります。交通違反になるので「私は大丈夫」という認識は捨てましょう。